

- 国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ
2024-2025 年度 2664 回例会 12 月 23 日
地区ガバナー 小 泉 久 司 クラブ会長 深 沢 成 彦

●2664 回例会（12/11） 例会報告

行動計画推進の時間



地区行動計画推進委員会サブリーダー
中尾 均 会員



クラブ行動計画推進リーダー
深沢 春樹 会員

充実した奉仕プロジェクト ― ロータリー財団の活用と支援 ポリオ根絶活動への理解と協力
会員基盤の維持・拡大 ―― 公平、多様で貢献を讃える文化
次世代のリーダー育成 ―――― 会員の体験と満足度
地域における存在感と独自性―地域の機会と特色を知っている 地域に知られ歓迎されている

●長所や強みを伸ばし、弱みや課題を改善する

- ① 単年度で対処できそうな事柄と、数年かけて取り組むべき事柄の棚卸しができます
- ② ビジョンとそれを叶えていくための道筋が ぼんやり見えてきます
方向性・将来像

● 効果的なクラブ戦略計画へのアイデア

- ・ 戦略計画委員会の構成を吟味する
未来を描く中心メンバー
- ・ 会員満足度などの基礎情報は毎年とる
- ・ 実現可能かつ高い目標を設定する
- ・ 周年々度を最終年度に設定する
- ・ 他クラブと共有し参考にする

地区行動計画推進ラーニングセッション FT：中尾サブリーダー

2024年12月1日

クラブ名	クラブの強み（長所）	クラブの弱み（短所）	今後の方向性や課題設定（戦略計画）	どのような機会未来を語っているか？ 誰でも意見できる取組みはあるか？	ご意見
甲府北 深沢春樹	歴史がある 知名度がある	会員が少ない 同じ会員がローテーションしている 皆でコミュニケーション（話し合いする場がない）	会員を増やしていかなければならない	真剣に語れる場が必要であると認識している	いずれも未来を考える委員会なので重複することもあるが、年度毎に検証し、戦略計画を更新するようにしている。